

母子手帳とともに

絵本を手渡す

お腹の中にいる子に
絵本を読むということ

「読みきかせ」というと、目の前にいる子どもに読むものと広く知れ渡っています。同じように、お腹の中の子に絵本を読んでほしいのです。

お腹の中の子に絵本を読めば、その思いはちゃんと届き、愛情を産まれてくる前から届けることができます。その愛情表現が親となる自分への自信につながり幸せな子育てのスタートを切るができます。

またよみ協会は、全力でそのお手伝いをします。



またよみ協会とは

お腹の中の子に、ママ・パパの愛情を届ける読みきかせの大切さを知ってもらうため、「母子手帳とともに絵本を手渡す事業」を推進する活動を行っている一般社団法人です。

またよみ協会がしていること

プレママ・プレパパ向け絵本講座

愛情を伝えるために絵本を活用できるように、基本的な知識と家庭で実践できる内容の講座を行っています。産前の母親父親教室の一コマなどにも対応しています。

マタニティ読みきかせアドバイザーの育成

全国各地で「またよみ」について話し伝えることができる公認アドバイザー育成講座を実施しています。全課程修了し認定面接を行った後に「認定証」を発行しています。

行政への提案

母子手帳とともに絵本を手渡す意義を行政各所にお伝えし、実施自治体を増やしていきたいと考えています。

講演会

代表内田早苗の講演会。講演実績は豊富です。マタニティ期の方対象のものから、支援に従事する方への研修まで幅広く対応しています。

子育て支援従事者向け講座

一コマ完結型から、より詳しく学びたい方のための連続講座まで要望にお応えします。

執筆・監修

マタニティ期の特集などに絵本についての記事の執筆を行い、インタビュー形式にも対応しています。マタニティ期対象のイベントの監修や運営などもご相談ください。

調査・検証・発信

マタニティ期から絵本を手渡すことの社会的意義を周知するための調査・検証・発表を行っています。

活動方針

- 母子手帳と共に絵本を配布できるよう行政への提案・協働。
- 読みきかせの価値をマタニティ期に知ってもらい、家庭でできるようにサポートする。
- 保護者が絵本選びに悩む時間を少なくする。
- 読みきかせのよさを知り、家庭に絵本を増やしたくなるような活動をやる。
- 絵本は親子の絆を深める助けになるという考えを広める。

協会概要

名称 一般社団法人 マタニティ期から絵本読みきかせ推進協会
代表理事 内田早苗
所在地 〒259-1135 神奈川県伊勢原市岡崎6717-7
活動拠点 ●本部（神奈川県伊勢原市）
●支部：多摩小金井支部（東京都小金井市）
宮崎支部（宮崎県宮崎市）
金沢支部（石川県金沢市）

「マタニティ期のママ・パパに絵本を手渡す活動」を応援してください

若い世代を応援する社会貢献活動に、皆さまのお力添えをよろしくお願いいたします。

年間会員（個人）

1口 **1,200円**
からお申し込みいただけます。

5口以上の方は当法人発行紙・Webサイト
にお名前を掲載いたします。

年間会員（法人）

1口 **10,000円**
からお申し込みいただけます。

当法人の発行紙・Webサイトに
貴社名を掲載いたします。

またよみフェロースhip（個人）

月間会員 **1,000円**／月
からお申し込みいただけます。

絵本や子育てについての学びや研究・調査
などに参加でき、様々な講座が受講できます。

ご入会の流れ

右の「入会お申し込みフォーム」よりお申し込みください。
当協会からの返信メールにてお振り込み先をお知らせいたしますので、会費をお振り込みください。入金確認後に会員証をお送りいたします。
その他のお問い合わせは「当協会ホームページ」より承っております。

入会お申し込み
フォーム



またよみ協会
ホームページ

